

52年度交通量調査結果まとまる

富士鷹岡線1時間で775台が通過 ＝市内の30路線を実施＝

昭和52年度交通量調査の結果がこのほどまとまりました。市交通課は去る9月13日午前7時から午後7時までの12時間にわたって市内の市道主要道路30カ所について61名の調査員によって交通量調査を行いました。

調査は、昨年度と同一路線を調査しましたが、とくに各路線、交通量とも大きな変化は見られなかったが自転車が昨年にくらべ2倍から3倍増加しています。参考までに3路線をみると次のとおりです。

(路線名)	(51年度)	(52年度)
・ 広見19号線	49台	103台



・ 中島岩本線	203台	401台
・ 蒲島柳島下線	377台	728台

このような特色は、産業用路線より生活用路線に強く現われているようです。つぎに歩行者は、通学、通勤時の午前7時から午前8時の1時間内に集中していることがわかります。30路線中一番多かった路線は次のとおりです。

- ①一の坪田宿先線 847人
- ②田宿寺市場線 653人
- ③中村久保線 685人

またこの同一路線を12時間でみると次のとおりになりますが、これらの路線は、いずれも小学校や駅付近であることから通学、通勤道路といえるようです。

- ①中村久保線 1,984人
- ②田宿寺市場線 1,803人
- ③一の坪田宿先線 1,611人

自動車についての交通量は、大きな変化は見られなかったが昨年にくらべ若干増えています。12時間の交通量で上位1から5までの路線は次のとおりです。

- ①富士鷹岡線 9,303台
- ②水戸島本町四丁河原線 8,975台
- ③吉原大淵線 7,237台
- ④本町四丁河原線 7,086台
- ⑤宇東川原田線 6,830台

年末調整等の説明会

ことしも、また富士税務署では、つぎの日程で「年末調整」と「青色申告」の説明会を開きます。案内状に記載された「日時」「場所」に必ず出席してください。

	年末調整関係		青色申告関係	
	午前 9.30～12.00	午後 1.30～ 4.00	午前 9.30～11.30	午後 1.30～ 3.30
11月28日 (月)	吉原市民会館	吉原市民会館		
11月29日 (火)	吉原市民会館	吉原市民会館		
11月30日 (水)			鷹岡公民館	鷹岡公民館
12月1日 (木)		鷹岡公民館		
12月2日 (金)	吉原市民会館	吉原市民会館		
12月5日 (月)	富士文化センター	富士文化センター		
12月6日 (火)			吉原市民会館 (ホール)	吉原市民会館 (ホール)
12月7日 (水)	富士文化センター	富士文化センター	富士文化センター (ホール)	富士文化センター (ホール)
12月8日 (木)		富士文化センター		
12月14日 (水)				吉原市民会館
12月15日 (木)				鷹岡商工会
12月19日 (月)			富士文化センター	



石油ストーブは「対震安全消火装置付」を

地震のときの石油ストーブによる火災は、ストーブの上に物が落ちたり、ストーブが倒れたりして起きています。地震で怖いのは、直接の揺れによる建物の倒壊よりも地震に伴う火災の被害です。地震時に備えて、昭和53年1月1日から移動式の石油ストーブは、すべて「対震自動消火装置」のついたものでなければ使えなくなりましたのでご注意ください。